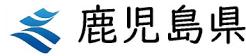


## ⑪ 段階確認、材料確認、確認・立会



監督職員等が臨場する場合、確認状況写真の撮影は不要

- ※ 監督職員等が段階確認等を実施している状況写真の撮影は不要。
- ※ 遠隔臨場で実施した場合も、記録と保存は不要。

「遠隔臨場事例集」の作成依頼をうけた場合は、状況写真の提出を御協力お願いします。



確認状況写真は不要



遠隔臨場事例集

鹿児島県（阿久根市） 地方特定道路整備工事（鍋之浦R4-1工区）

（案件概要）

工事名	R4-2.23-R5.10.16
実行期間	R5.4.1~R5.30.16

（案件内容）

建設業者	株式会社
施工内容	橋梁下部工 （主工事） 道幅拡張
施工方法	「スカートドリッパー」 ・各種測量確認 ・定期巡回確認 ・実際勘定Site Live (株式会社セイコシステム)
監理監査	監理監査
施工者名	丸山建設 株式会社

（現場の声）

●施工者（実行者）

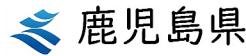
- （施工）  
・三井住友建設株式会社で、日程調整が複雑になってしまった。  
・遠隔で監視を実施した場合、映像にてフレームタイム差は確認がかかるため、状況が説明がやや複雑になります。
- （監理）  
・遠隔で監視する場合は、自分で印象を整理しなければならないので費用負担が大きくなります。

●監督員（発注者）

- ・実行者は、セイコー会社であり、特に進捗の把握では大変な苦労がある。  
・遠隔監査について、直営PCやCAOの画面が可視であり、映像が入り込むことで、映像の品質が悪くなる。  
・立会い監査が生じた場合、又は監査や上位にその場で相談が増加する場合、実施者に負担が増す可能性があります。  
・移動時間も遠隔での監査のリスクが想定できます。
- （連絡）  
・遠隔監査が良い地域については遠方でも監査立会が必要になる。  
・遠隔モニター料金が監査料金となっていました。

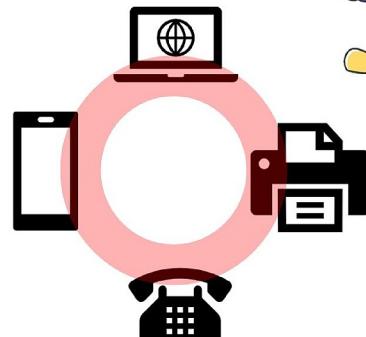
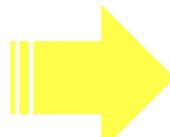
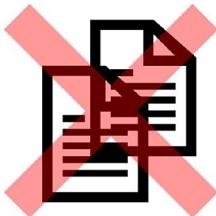
【立会状況（実施側）】   
【現場施工状況の確認】   
【監査状況との一元化】

## ⑫ 休日・夜間作業届



休日・夜間作業届出は、口答、FAX、電子メールなどによる連絡でよい。

- ※ ただし、道路上の交通規制を伴う工事については提出を要する。

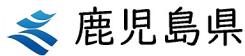


【土木工事共通仕様書 I-1-1-37 施工時期及び施工時期の変更】 2.休日または夜間の作業連絡

受注者は設計図書に施工時間が定められていない場合で、官公庁の休日または夜間に、作業を行うにあたっては、職事前にその理由を監督員に連絡しなければならない。

ただし、現道上の工事については書面により提出しなければならない。

## ⑬ 年末・年始等、長期休暇時のパトロール



年末・年始及び夏季休暇など長期休暇時のパトロール(計画書作成)は不要。

※ ただし、現道工事中で交通開放している場合などは、工事現場との分離処置をしっかり行ったうえで、受発注者で協議し、現場パトロールの要否を判断する。

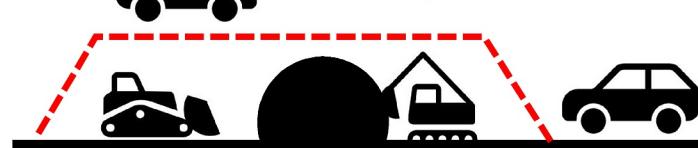
月日		8/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	8/28
行 事 休 業 等 計 画	休 業 等 計 画																												
← 夏期休暇																													
月日	9/29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	9/25	
行 事 休 業 等 計 画	休 業 等 計 画																												
→																													
月日	9/26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	9/26	
行 事 休 業 等 計 画	休 業 等 計 画																												
月日	10/2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	10/2	
行 事 休 業 等 計 画	休 業 等 計 画																												
→ 正月休み																													
月日	1/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	1/1	
行 事 休 業 等 計 画	休 業 等 計 画																												

【現道工事で交通開放する場合】

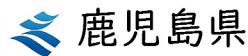
受発注者協議



工事現場に入れないよう  
バリケードで仕切って  
しっかりと休もう!



## ⑭ 安全・訓練等の実施状況報告書



安全・訓練等の実施状況報告書は、完成書類に含めての提出でよい。

※ 工事着手後、作業員全員の参加により月当たり、半日以上の時間を割当て、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施する場合、毎月報告は不要。

(別紙報告書)

工事名	講義名		
契約工期	平成 年 月 日～平成 年 月 日 ( 曜日 )		
実施日	所要時間	参加人数	実施 内 容 等

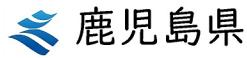
(注) 実施状況等は別紙のとおり。

定期的な安全訓練の実施



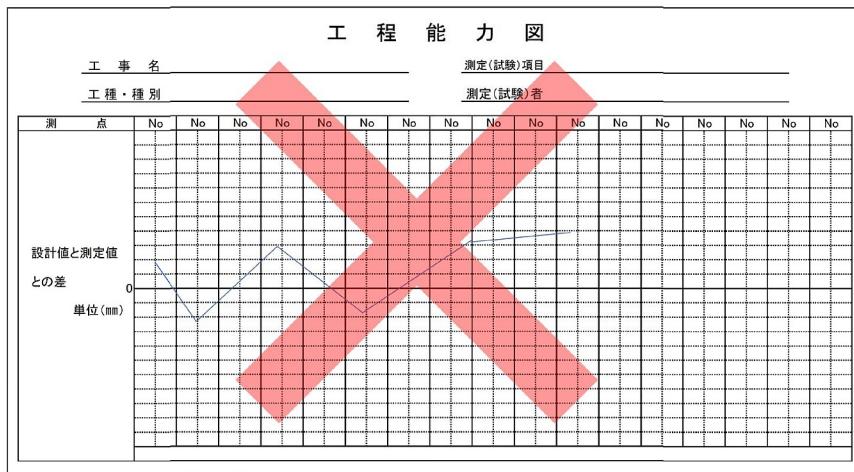
【参考】【土木工事共通仕様書 I-I-1-28 工事中の安全確保】 13.安全教育・訓練等の記録  
受注者は、安全教育及び安全訓練等の実施状況について、ビデオ等または工事報告等に記録した資料を整備及び保管し、監督職員の請求があった場合は直ちに提示するものとする。

## ⑯ 工程能力図



出来形管理の測定点が10点未満の工種は、工程能力図は不要

(標準 5)



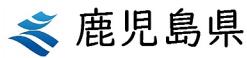
### 【土木工事施工管理基準 一般土木編 4 出来形管理】(2)出来形管理

※「出来形管理成果総括表、測定成果一覧表、**工程能力図(測定点10点以上)**、度数表(ヒストグラム)」については、出来形管理図表にて代用可能なため提出は不要。(作成は必要。提示を求められることがある)

<測定点が10点未満の場合>

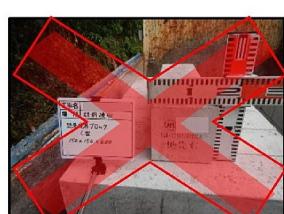
出来形管理図表として整理した資料は作成不要。ただし、「出来形管理総括表、測定成果一覧表、度数表(ヒストグラム)」を施工中は提示、工事完成時に提出

## ⑯ 工事写真(1)



使用材料写真のJIS製品・協会製品は、規格とマークの写真のみでよい

※ JIS製品や県コンクリート製品協会の合格証紙貼付製品は、製品の形状寸法の写真は不要



JISマークと規格がわかる  
ように撮影



JISマーク表示品や協会合格証紙貼付製品  
は、形状寸法の写真撮影・提出は不要

区分	写真撮影箇所一覧表(全体)		結果
	部位名	部位番号	
岩手山・宮代山	岩手山	岩手山代表部分等	検査済
		岩手山	
完成	完成又は代表部分等	検査済	
施工実況	下歩道下部 基材状況	完成又は代表部分の下歩道 基材状況	月1回 (月末)
	施工中の下歩道	上歩道、傾斜面に設置された 上歩道の構造に異常がない ことなどが確認できるよう な状況	月1回 (月末)
	傾斜面状況	傾斜面が水平等で傾き ないことを確認できるよう な状況	月1回 (月末)
	板張り底板状況	板張り底板に1cm 以下	月1回 (月末)
	同面の不一致	同面と見ゆるの不一致のア ウト	必要に応じて (発生時)
	同面の寸法	同面と見ゆるの寸法のア ウト	工事行進時に添付する たどり(寸法)と測定結果 における差異を記入する うえに、寸法の誤差範囲 を算出する(マージン) して、寸法の誤差範囲内 にあらかじめ規格を示す JISマーク(ICONマーク) (発生時)
	表面状況	表面に目立つ凹凸がある などして、ひび割れや剥離 等の外観上の問題がある 場合は、その外観上の問題 を記載する(発生時)	月1回 (月末)
安全管理	安全管理	各種機械の運転状況 各機械の運転に際して 各機械の運転状況	各機械毎に1回 (発生時)
		各機械の運転に際して 各機械の運転に際して	
	機械交通事故状況	各機械の運転に際して 各機械の運転に際して	
	安全装置の運転状況	各機械の運転に際して 各機械の運転に際して	
使用材料	使用材料	各機械の運転に際して 各機械の運転に際して	
	形状寸法 使用量 保管状況 品質証明 (JISマーク表示)	各機械の運転に際して 各機械の運転に際して	
	品質実績状況 (技術検査)	各機械の運転に際して (技術検査)	

使用材料	使用材料	形状寸法 使用数量 保管状況 品質証明 (JISマーク表示)	各品目毎に1回 (使用前)	品質証明に添付する 検査実施状況
			各品目毎に1回 (検査時)	